

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

田原市社会福祉協議会

## 目次(決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額(単位:円)		比較増減
		令和元年度	平成30年度	
<b>◎法人運営</b>				
1 法人運営事業	1	61,903,319	66,013,007	△4,109,688
2 結婚相談事業	5	7,364,083	7,375,850	△11,767
3 共同募金配分金事業	7	3,059,383	3,071,902	△12,519
<b>◎地域福祉活動</b>				
4 ボランティアセンター運営事業	8	5,894,014	5,937,251	△43,237
5 生活ささえあいネット事業	12	9,981,232	8,993,100	988,132
6 地域福祉ネットワーク事業	14	8,378,610	8,911,000	△532,390
7 生活支援体制整備事業	18	6,324,037	4,248,904	2,075,133
<b>◎福祉サービス利用支援</b>				
8 成年後見センター事業	19	16,777,870	15,993,000	784,870
9 日常生活自立支援事業	21	727,603	613,943	113,660
10 資金貸付事業	22	350,000	348,500	1,500
11 心配ごと相談事業	23	2,137,098	1,989,370	147,728
12 障害児相談支援事業	23	124,741	290,072	△165,331
13 一般相談支援事業	24	0	0	0
14 特定相談支援事業	25	18,085,675	17,691,517	394,158
15 高齢者支援(地域包括支援)センター事業	27	38,363,812	35,907,413	2,456,399
16 生活困窮者自立相談支援事業	31	11,928,537	9,821,840	2,106,697
17 生活困窮者就労準備支援事業	32	3,537,983	3,400,832	137,151
18 障害福祉サービス事業	32	11,290,260	10,887,783	402,477
19 就労移行支援事業	33	18,564,115	22,487,721	△3,923,606
20 移動支援事業	33	7,045,960	7,138,000	△92,040
21 生活介護事業	34	30,551,292	26,705,794	3,845,498
22 日中一時支援事業	35	3,811,302	5,322,649	△1,511,347
<b>◎在宅福祉サービス(介護保険事業等)</b>				
23 居宅介護支援事業	35	71,131,717	72,041,358	△909,641
24 訪問介護事業	36	33,544,054	41,471,562	△7,927,508
25 福祉車両運行サービス事業	37	2,224,720	2,414,632	△189,912
26 配食サービス事業	38	7,069,815	8,163,540	△1,093,725
27 高齢者介護予防事業	38	2,370,092	8,673,834	△6,303,742
<b>◎施設・指定管理</b>				
28 田原福祉センター管理運営事業	39	42,773,315	44,027,917	△1,254,602
赤羽根福祉センター管理運営事業	39	13,360,723	14,269,347	△908,624
事業報告の附属明細書について	41			
合計		438,675,362	454,211,638	△15,536,276

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

## ◎法人運営

### 1 法人運営事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
61,903,319円	66,013,007円	△4,109,688円

[目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

[主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員35人、嘱託職員10人、臨時職員47人の計94人（令和2年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報誌は奇数月発行（年6回）
- 職員研修の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

決算額の比較増減については、職員の休職に伴う人件費減額が主な理由です。

#### (1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

#### ア 理事会

(ア) 第1回理事会 令和元年6月7日 於田原福祉センター  
議事

- 第1号議案 評議員候補者の選出について
- 第2号議案 理事及び監事候補者の選出について
- 第3号議案 第三者委員の選任について
- 第4号議案 平成30年度事業報告について
- 第5号議案 平成30年度決算について
- 第6号議案 令和元年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について

(イ) 第2回理事会 令和元年6月26日 於田原福祉センター  
議事

- 第7号議案 会長の選定について
- 第8号議案 副会長の選定について
- 第9号議案 常務理事の選定について

(ウ) 第3回理事会 令和元年12月18日 於田原福祉センター  
議事

- 第10号議案 評議員候補者の選出について
- 第11号議案 理事候補者の選出について
- 第12号議案 第三者委員の選任について
- 第13号議案 多機能型事業所田原市社協運営規程の一部改正について
- 第14号議案 日中一時支援事業所運営規程の一部改正について
- 第15号議案 田原市社協ヘルパーステーション運営規程の一部改正について
- 第16号議案 田原市社協ヘルパーステーション移動支援事業運営規程の一部改正について
- 第17号議案 田原市社協ヘルパーステーション指定居宅介護事業運営規程の一部改正について
- 第18号議案 田原市社協ヘルパーステーション指定第1号訪問事業（訪問型サービス）  
運営規程の一部改正について
- 第19号議案 職員就業に関する規則の一部改正について
- 第20号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第21号議案 再雇用職員取扱要綱の一部改正について
- 第22号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第23号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第24号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について
- 第25号議案 令和元年度第2回評議員会の招集について

(エ) 第4回理事会 令和2年1月24日 書面決議  
議事

- 第26号議案 副会長の選定について

(オ) 第5回理事会 令和2年3月16日 於田原福祉センター  
議事

- 第27号議案 事務局規程の一部改正について
- 第28号議案 令和元年度補正予算（第1号）について
- 第29号議案 令和2年度事業計画について
- 第30号議案 令和2年度予算について
- 第31号議案 令和元年度第3回評議員会について

## イ 評議員会

- (ア) 令和元年度定時評議員会（第1回評議員会）  
令和元年6月26日 於田原福祉センター

## 議事

- 第1~15号議案 理事の選任について
- 第16~17号議案 監事の選任について
- 第18号議案 平成30年度事業報告について
- 第19号議案 平成30年度決算について

(イ) 第2回評議員会 令和元年12月26日 於田原福祉センター  
議事

- 第20号議案 理事の選任について
- 第21号議案 常務理事の報酬等及び勤務に関する規程の一部改正について

(ウ) 第3回評議員会 令和2年3月25日 書面決議  
議事

- 第22号議案 令和元年度補正予算（第1号）について
- 第23号議案 令和2年度事業計画について
- 第24号議案 令和2年度予算について

## ウ 監査会

第1回監査会 令和元年5月28日 於田原福祉センター  
監査事項

- a 平成30年度事業報告について
- b 平成30年決算報告について

## (2) 啓発及び広報活動

機関誌「社協だより」の発行(年6回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

## (3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

### ア 募集実績

会員種別	令和元年度	平成30年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	851件 (1,012,696円)	838件 (995,440円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	234件 (2,218,535円)	229件 (2,224,761円)
合計	1,085件 (3,231,231円)	1,067件 (3,220,201円)

## イ 会費使途

予算区分	内容	金額(円)	割合(%)
法人運営事業	社協だより(年6回発行)発行費	1,019,480	31.6
	福祉バス(29人乗、1台)運行費	1,611,490	49.9
	福祉のつどい開催経費の一部	92,761	2.8
地域福祉ネットワーク事業	シルバーサロン(17グループ)助成	507,500	15.7
合計		3,231,231	100

### (4) 福祉のつどい等福祉啓発事業

令和元年11月10日に田原文化会館において、社会福祉活動の輪を広げるため「第33回福祉のつどい」を開催しました。

多年にわたり社会福祉の増進に寄与した功績顕著な方々に表彰状及び感謝状を贈呈するとともに、ボランティア団体(渥美虹の会、視覚障害者団体さくらんぼ、田原マジックサークル)や社会福祉活動協力校(泉中学校)の活動発表・講演会(落語家 桂 七福さん)・各種展示・バザー・体験教室・模擬店を実施し、市民の社会福祉意識の高揚と啓発に努めました。(来場者 約2,000人)

### (5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

## ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料等の作成及び市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会(※)

※母子寡婦福祉会への助成は、3共同募金配分金事業(2)ボランティア団体等

支援助成(P8)参照

## イ 事業費支援

次の社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額(円)	
	令和元年度	平成30年度
田原市仏教会 (花まつり、慰霊祭等)	719,130	719,130
六連神社奉賛会(慰霊祭)	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

(6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発に努めるとともに、積極的に外部の生きがいきづくり活動の場へ参加を促すことに努めました。

	令和元年度	平成30年度
年間訪問件数	46件	84件
相談室延利用人数	999人	919人

(7) 福祉バス

地域の独り暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、『福祉バス』として高齢者サロン・障害当事者・コミュニティ関係者等が、社会参加や視察研修等、多様なニーズに活用できるように利用幅を広げています。また、多くの団体が社協特別会員として、社協活動への理解と協力を示していただくきっかけとなっています。

		令和元年度		平成30年度	
利用目的		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	10	207	12	224
	野田	9	164	9	161
	高松	2	42	4	83
	伊良湖	4	85	3	65
	亀山	1	12	1	11
サロン活動		32	519	28	461
閉じこもり予防		7	90	7	139
視察研修		14	252	21	373
行事・大会・イベント他		20	369	17	339
合計		99	1,740	102	1,856

2 結婚相談事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
7,364,083円	7,375,850円	△11,767円

[目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

[主な事業内容・実績]

結婚を希望する方の相談対応やお見合い、イベント実施により出会いの場を提供しました。

【職員体制】	相談員 2名
【開館時間】	祝日、12月29日～翌年1月3日を除くすべての日 午前9時から午後5時まで
	○結婚等に関する相談対応
	○婚活イベント及び婚活セミナーの開催
	○お見合いのコーディネート及び立会い
	○自主グループ企画支援
	○地域住民サポーターとの情報交換を目的とした茶話会の実施

(1) 登録者数等の実績

区分		令和元年度	平成30年度
ふれあいカード登録者数(人)※		99	134
ふれあい相談センター 利用実績 (件)	来客	268	356
	電話	302	374
	メール等	328	229
	計	898	959
ふれあいイベント延参加者数 (開催回数)		128 (5回)	130 (5回)
婚活セミナー延参加者数		47	29
婚活セミナー開催回数		1	1
お見合い件数		12	11
成婚組数		5	6

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベントの開催

結婚を望んでいる独身者のために、男女の出会いの場として「婚活イベント」を実施しました。

「日帰りバスツアー」や「再婚活」また恒例の「寺コン」「クリスマスパーティー」「いちご狩り」等の体験型イベントなどを実施し、男女の円滑な交流を図り交際へと繋がるための機会を提供しました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によりお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧の後お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合に、お見合いの機会を提供しました。イベントへの参加が苦手な方にとってはお見合いの方が成婚に至る可能性が高くなっています。

本年度は、12組のお見合いを実施し、4組の方が現在交際中です。

(4) 婚活セミナーの開催

結婚への意識を高めるためにコミュニケーション能力を向上させるセミナーを継続的に開催するなどの支援を実施しました。

### 3 共同募金配分金事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
3,059,383円	3,071,902円	△12,519円

#### [目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

#### [主な事業内容・実績]

○敬老訪問事業
○ボランティア団体の活動支援
○社会福祉活動協力校への活動助成
○おもちゃ図書館の活動支援
○母子寡婦福祉会の活動支援
○福祉のつどい開催

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。（募金実施期間10月1日～12月31日）

令和元年度の取り組みとして、昨年度に引き続き、バルーンアート・着ぐるみ・レクリエーショングッズを活用した街頭募金活動を各校区市民館まつりで実施しました。

区分	募金額(円)	
	令和元年度	平成30年度
街頭募金	153,757	138,814
イベント募金	239,435	237,384
学校募金	483,928	496,028
職域・戸別募金	1,156,129	1,200,463
法人募金	1,815,000	1,981,892
個人募金	229,829	331,224
その他	96,873	56,578
合計	4,174,951	4,442,383

愛知県共同募金会からの一般募金配分金と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

#### (1) 敬老訪問

田原市と共催で、満88歳・100歳以上の高齢者にお祝い品を9月5日に贈呈しました。

区分	令和元年度	平成30年度	記念品
満88歳の方	334	344人	体温計
満100歳以上の方	51	56人	わた入り毛布
合計	385	400人	

(2) ボランティア団体等支援助成

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	令和元年度	平成30年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
各ボランティア団体（3団体） 田原市食生活改善健康づくり会、渥美虹の会、田原井戸端会議事務局	80,000	60,000
母子寡婦福祉会	270,000	270,000
社会福祉活動協力校※ 小学校18校、中学校5校、高等学校3校	1,283,113	1,300,000
合計	1,855,113	1,852,000

※社会福祉活動協力校には、1校最大で5万円を助成しています。

事業内容は、6地域福祉ネットワーク事業（5）社会福祉協力校事業（P17）を参照

## ◎地域福祉活動

### 4 ボランティアセンター運営事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
5,894,014円	5,937,251円	△43,237円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

○各種講座の開催
○ボランティアセンターの運営
○ファミリー・サポート・センターの運営
○防災ボランティアコーディネーターの養成

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機づけや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。

## ア ボランティア講座

内容	令和元年度		平成30年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
要約筆記入門講座	3	1	3	2
手話入門講座	3	2	8	17
点字入門講座	1	5	2	9
傾聴ボランティア講座	0	0	2	32
レクリエーション講座	4	48	4	42
ちょボラ講座	イの「ボランティア紹介セミナー」内で実施		イの「ボランティア紹介セミナー」内で実施	
合計	11	56	19	102

※傾聴ボランティア講座は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

## イ ボランティア紹介セミナー

田原市ボランティア連絡協議会主催、田原市社会福祉協議会共催で「きっと見つかる！あなたに合ったボランティア紹介セミナー」を田原福祉センターにて9月・2月の2回開催しました。

ボランティアに興味がある方が対象で、ボランティアを始めるきっかけづくりを目的に、「ボランティアってなに？」をテーマに『ちょボラ講座（ちょっとしたボランティア講座）』を行った後、セミナー参加団体による『活動紹介』を行いました。その後の『相談交流タイム』では、参加者が積極的にボランティア団体のテーブルを回り、普段の活動の様子を聞き、自分に合ったボランティア探しを行いました。

### 【第5回】

- 開催日時：令和元年9月28日（土）  
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所：田原福祉センター 大会議室・会議室
- 参加者：一般参加者3人  
ボランティア団体参加12団体（25人）

### 【第6回】

- 開催日時：令和2年2月22日（土）  
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所：田原福祉センター 大会議室・会議室
- 参加者：一般参加者8人  
ボランティア団体参加9団体（27人）

※回数は平成29年9月の開催当初からの通算回数

## (2) 広域的ボランティア事業

『令和にひびけ ボランティアの輪 ～清流のリレー～ できることからスタート！～』をテーマに新城文化会館にて開催されました。午前は、「地域を元気にするために ～奥三河の活動から学ぼう～」をテーマに、大脇聡氏による講演会が行われ、午後は、活動発表、交流体験ブース、活物づくりブース、展示ブース等に分かれて各々の活動をアピールしながら、東三河5市2町1村のボランティアと交流を図りました。

○開催日時：令和2年2月8日（土）午前10時～午後3時15分

○開催場所：新城文化会館

○参加者：約500人（内田原市84人）

## (3) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア活動を行う団体、個人の活動を支援しました。

### ア ボランティア登録状況 令和2年3月31日現在

	令和元年度	平成30年度
個人 ※	126人	136人
団体	83団体（3,322人）	78団体（3,133人）

※個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含みます。

### イ ボランティア活動に関する相談受付（件数）

	令和元年度	平成30年度
依頼	12	19
紹介	16	16
連絡・調整	9	16
合計	37	51

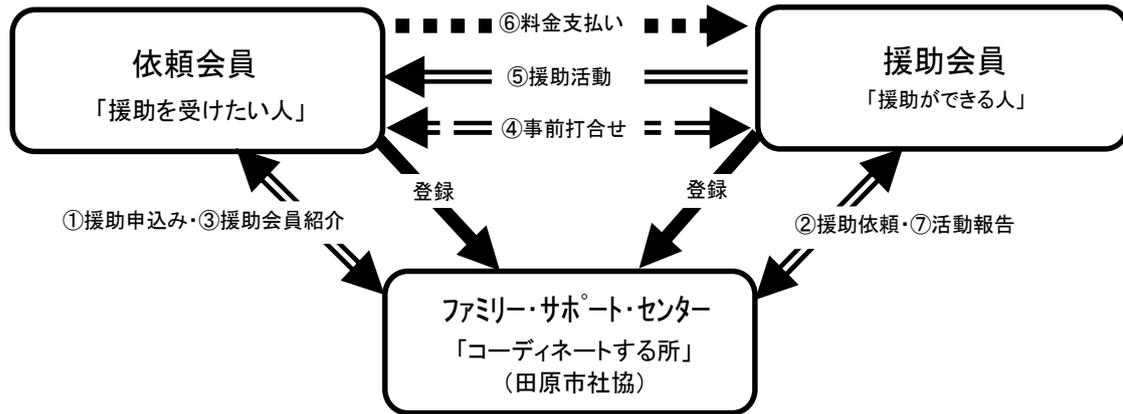
### ウ ボランティア活動保険への加入状況

	令和元年度	平成30年度
個人	62人	74人
団体	44団体（991人）	46団体（1,022人）

## (4) ファミリー・サポート・センターの運営（市受託事業）

平成27年4月から社協総務課に事務局を設置し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助ができる人（援助会員）の会員登録と、依頼会員に対する援助会員の紹介を行いました。

## ファミリー・サポート・センター制度概要図



### ※援助活動料金

- ・月～金曜日（平日）午前7時～午後7時  
1時間500円(上記時間外600円)
- ・土日・祝日（休日）午前7時～午後7時  
1時間600円(上記時間外700円)

年末・年始は休日料金となります。

複数の子どもを預ける場合、2人目からは半額となります。

ただし、援助会員1人に対し3人までです。

### ア 登録状況

	依頼会員		援助会員		両方会員	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
年度末登録	53人	59人	14人	12人	12人	11人

### イ 活動実績

活動内容	令和元年度	30年度
送迎	13件	8件
預かり	29件	15件
送迎・預かり	21件	30件
合計	63件	53件

### (5) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を養成することを目的に、養成事業を実施しました。

開催月	内容	参加人数
7月	防災ボランティアコーディネーター養成講座（2日間）	21人
8月	田原市総合防災訓練（センター立上げ訓練）	34人
1月	防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	13人

## 5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
9,981,232円	8,993,100円	988,132円

[目的]

日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いと地元商店との連携を図ります。

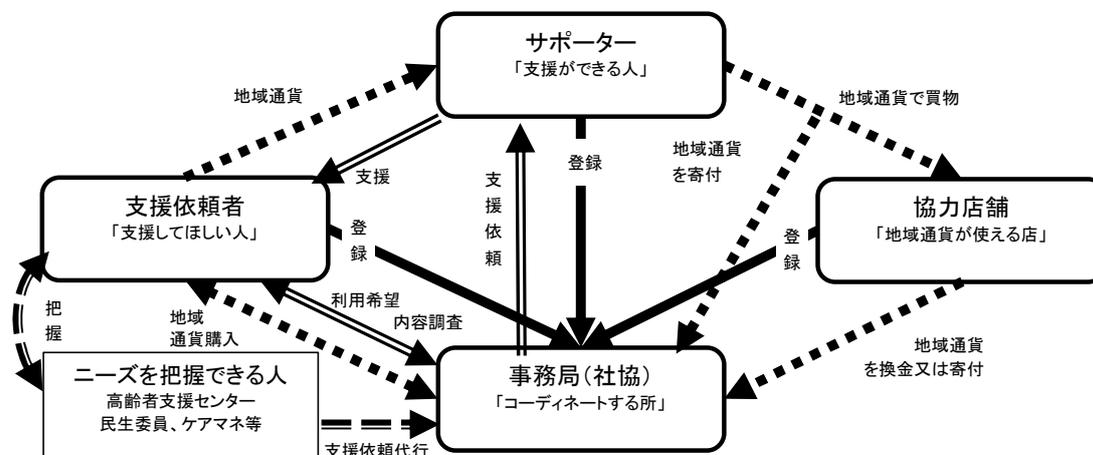
[主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活でのちょっとした困りごとを、地域住民の「おたがいさま」の気持ちで支え合い、助け合う活動を組織化しました。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- サポーターを対象とした研修の実施及び保険加入手続き
- 地域通貨の発行、換金及び管理

決算額の比較増減については、職員の配置換え及び事務分担変更に伴う人件費の増額が主な理由です。

### 生活ささえあいネット制度概要図



### ※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・100菜で30分相当の支援利用

### (1) 登録状況

	支援依頼者		サポーター		協力店舗	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
年度末登録	197人	173人	176人	156人	41事業所 46店舗	38事業所 44店舗

## (2) 支援実績等

	初回コーディネート		地域通貨販売	
	令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
年度実績	29件	23件	117冊	121冊
累計	167件	138件	625冊	508冊

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数

## (3) 啓発活動等

## ア 説明会

日程	対象	会場	参加人数
4月	渥美地区民生委員	田原福祉センター	40名
5月	ボランティア連絡協議会総会	田原福祉センター	60名
	神戸校区老人クラブ総会	神戸市民館	130名
6月	ボランティアセンター運営委員会	田原福祉センター	10名
	ボランティア連絡協議会役員会	田原福祉センター	10名
8月	福江校区コミュニティ	福江市民館	2名
	和地校区コミュニティ	和地市民館	2名
9月	田原南部校区協議体参加者	田原南部市民館	10名
	和地校区地域住民	和地市民館	20名
10月	和地校区地域住民	和地市民館	43名
	中山校区コミュニティ	中山市民館	1名
	田原中部校区コミュニティ	田原中部市民館	1名
	よってきん会（自主サロン）	田原福祉センター	10名
	中山校区コミュニティ	小中山総合会館	1名
11月	光崎いこいの会（シルバーサロン）	光崎集会所	7名
12月	堀切校区コミュニティ	堀切市民館	2名
	伊良湖校区コミュニティ	伊良湖市民館	2名
	中部シルバーサロン	中部市民館	7名
1月	田原市老人クラブ連合会代表者会	田原福祉センター	18名
	堀切なごみカフェ	堀切市民館	12名
	伊良湖校区一人暮らし高齢者食事会	与加楼	17名
2月	中山校区コミュニティ	中山市民館	1名
	藤尾会（自主サロン）	南部市民館	12名
	衣笠シルバーサロン	衣笠市民館	3名
	第6回ボランティア紹介セミナー	田原福祉センター	7名
	ウェンズデイ（自主サロン）	中部市民館	7名
	つばき会（自主サロン）	中部市民館	14名
合計			449名

## イ 広報

- ・社協広報「社協だより」掲載  
第95号（7月15日発行）  
第97号（11月15日発行）※パンフレット挟み込み  
市民館まつりにてパンフレット配布

## 6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
8,378,610円	8,911,000円	△532,390円

### [目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

### [主な事業内容・実績]

○地域福祉活動の推進
○小地域活動を支援するための講座、映画会
○シルバーサロン・ふれあいサロンの運営
○学校と地域のつながりづくりの支援
○福祉実践教室開催時における講師の派遣調整
○小・中・高等学校における福祉教育啓発活動

### (1) 地域福祉活動の推進

#### 市民館まつり等応援

市民館まつり等校区コミュニティが開催する行事に出向き、ボランティア活動や共同募金等、社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行うとともに、地域住民と交流を図りました。

開催日	行事名	対応状況
6月9日	童浦市民館まつり	職員4人
6月16日	清田市民館まつり	職員5人
8月11日	野田夏まつり	職員2人
8月12日	亀山市民館まつり	※台風接近により中止
8月12日	高松市民館まつり	※台風接近により中止
8月18日	伊良湖市民館まつり	職員3人
10月6日	和地市民館まつり	職員3人
10月19日	田原南部市民館まつり	職員3人
10月20日	田原中部市民館まつり	職員3人

10月20日	堀切市民館まつり	職員2人
10月20日	大草市民館まつり	ボラ1人・職員3人
10月26日	田原東部市民館まつり	ボラ4人・職員3人
10月26日	中山市民館まつり	職員3人
10月26日	福江市民館まつり	職員3人
10月26日	赤羽根市民館まつり	職員3人
10月26日	野田市民館まつり	ボラ1人・職員2人
10月26日	若戸市民館まつり	職員3人
10月26日	泉市民館まつり	職員3人
11月3日	神戸市民館まつり	職員3人
11月3日	衣笠市民館まつり	ボラ2人・職員3人
11月3日	六連市民館まつり	職員3人
11月16日	高松文化祭	職員2人

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

各地区で行うシルバーサロンや老人クラブなどに出向き、レクリエーションや福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンの希望に応じて映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

	令和元年度	平成30年度
開催回数	22回	14回
延参加者数	340人	194人

(3) 小地域での交流の場としてシルバーサロン等を開設・運営

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に「ふれあいシルバーサロン」を設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の事務手続きに係る負担の軽減と活動内容の提案を目的として、自主サロン代表者説明会を開催しました。

また、地域住民がリーダーとなって新たな居場所づくりに取り組む「コミュニティサロン」の活動支援を行いました。

## ア 開催実績

		令和元年度			平成30年度		
		グループ・会場数	延開催回数	延参加人数	グループ・会場数	延開催回数	延参加人数
シルバーサロン	社協主催サロン※	18会場	359回	2,913人	18会場	401回	3,254人
	自主活動グループサロン	34グループ	1,105回	11,500人	27グループ	867回	8,415人
コミュニティサロン		6グループ	214回	3,391回	6グループ	236回	3,750人
合計		58	1,678回	17,804人	51	1,504回	15,419人

※社協主催サロンには、指導員（臨時職員）を派遣しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3月の社協サロンはすべて中止、自主サロンも多数のサロンが開催を自粛しました。

## イ 助成制度

	開催回数	人数	助成金額	備考
シルバーサロン (自主活動グループサロン)	月1回以上	5人以上10人未満	20,000円	3年超は2/3助成※
		10人以上	30,000円	
コミュニティサロン	月2回以上	10人未満	54,000円	
		10人以上20人未満	72,000円	
		20人以上	96,000円	

※シルバーサロン（自主活動グループサロン）の助成金は、立ち上げ後3年間は社協会費を財源とした社協の単独助成です。3年超のシルバーサロン（平成28年度以前に助成開始）と、コミュニティサロン（平成27年度助成開始）の助成金は田原市の間接助成として田原市から社協への委託料に含まれています。

### (4) 地域における世代間交流

市内の保育園、小学校等と地域の高齢者が世代を超えて交流できる機会を支援しました。コミュニティサロン参加者が保育園等に出向いて、園児に向けて折り紙紙芝居の披露と、折り紙作りを行いました。また、シルバーサロンと学童の交流会に職員が出向いてバルーンアート教室を開き、小学生と高齢者が協力してバルーンアートを制作しました。加えて、保育園から季節ごとの行事への招待を頂いた校区については、参加者の送迎支援を行いました。

開催日	行事名	対応状況
5月10日	法光院花祭り（折り紙紙芝居交流会）	ボラ6人、職員1人
6月7日	六連サロン・六連保育園交流会	職員3人
7月5日	泉サロン・泉保育園交流会	職員2人
7月16日	高松サロン・高松保育園交流会	職員3人
8月21日	稲場保育園 折り紙紙芝居交流会	ボラ8人、職員1人
8月22日	若戸保育園 折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員2人
8月23日	赤羽根保育園 折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員1人
9月4日	中山保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
9月6日	伊良湖岬保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員1人
9月11日	赤羽根サロン・赤羽根小学校交流会	職員2人
10月4日	高松保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
10月9日	北部保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
10月21日	漆田保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ7人、職員1人
10月30日	大草保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
11月26日	蔵王こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ8人、職員1人
12月4日	田原赤石こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員1人
12月5日	田原赤石こども園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
12月9日	神戸保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ5人、職員1人
12月11日	中部保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ4人、職員1人
12月16日	小中山保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ4人、職員1人
12月17日	高松サロン・高松保育園交流会	職員1人
12月24日	泉サロン・泉保育園交流会	職員2人
1月15日	稲場保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員1人
1月20日	第一保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ6人、職員1人
1月21日	高松サロン・視覚障害者団体さくらんぼ演奏交流会	ボラ7人、職員2人
1月22日	福江保育園折り紙紙芝居交流会	ボラ4人、職員1人
3月3日	泉サロン・泉保育園ひなまつり交流会	※新型コロナウイルスの影響により中止

#### (5) 社会福祉活動協力校事業

市内の小・中・高等学校（小学校18校、中学校5校、高等学校3校）を社会福祉活動協力校に指定し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室等への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

	令和元年度		平成30年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
車いす	14	535	13	490
手話	10	492	13	545
要約筆記	1	60	3	184
点字	5	174	8	297
盲導犬	5	181	2	124
視覚ガイド	10	419	12	484
知的障害	1	60	0	0
高齢者擬似体験	4	149	5	232
認知症	5	213	4	141
講話	0	0	1	220
合計	55	2,283	61	2,717

※社会福祉活動協力校への助成金は、全額共同募金配分金で賄われています。

## 7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
6,324,037円	4,248,904円	2,075,133円

### [目的]

高齢者単身・夫婦のみ世帯等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく地域住民が主体となった生活支援サービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として市内4つの圏域に生活支援コーディネーター（第2層）を配置することにより、地域における高齢者の生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進し、地域福祉の向上を図ります。

### [主な事業内容]

中学校区を基本とした4つの日常生活圏域に生活支援コーディネーターを各々配置し、多様な生活支援（生活ささえあいネット事業の周知、住民同士の助け合い創出・再構築）が利用できる地域づくり、介護予防意識の向上を目的とした地域住民への働きかけを行いました。

各コミュニティ協議会に置かれた市民館を中心にネットワーク構築を図るとともに、市民館長や主事、高齢者支援センターや民生児童委員、地域活動の実践者（ボランティア団体、サロン主催者等）等と地域の情報の共有や後方支援を行うことで、活動の促進・活性化を図りました。また、地域の情報をまとめたシート（冊子）の新規作成や更新を行うとともに、各小学校区に1箇所を目標に第2層協議体の設置運営や、それに向けた働きかけを行いました。

- 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- 関係機関とのネットワーク構築
- 生活支援の担い手養成やサービスの開発
- 必要時、個別ケア会議への出席

決算額の比較増減については、事業内容の充実化を図るため、担当職員を増員したことに伴う人件費の増額が主な理由です。

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

	令和元年度	30年度
地域生活のニーズ把握、課題整理	149回	26回
地域資源に関する資料更新、集約活動	155回	170回
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	81回	40回

(2) 関係機関とのネットワークの構築

	令和元年度	30年度
関係機関等との連携強化	84回	84回
第二層協議体の設置、機能促進	60回	46回

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

	令和元年度	30年度
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進	33回	7回
(サロンやボランティア団体等との交流、相互理解促進)		18回
地域とのつながりをつくり、サービスの開発を促進	22回	15回

(4) 個別ケア会議への出席

	令和元年度	30年度
個別ケア会議への出席	4回	1回

◎福祉サービス利用支援

8 成年後見センター事業（市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
16,777,870円	15,993,000円	784,870円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

## [主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見〔身上監護（契約手続等）と財産の管理〕の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 市民後見人等養成の検討
- 親族後見人、後見申立てに関する相談支援

### (1) 成年後見センター運営委員会（委員10名）

法律、行政、福祉、医療等の専門職を構成員とし、個別ケースの法人後見受任可否の審議等を行いました。

- |   |   |  |
|---|---|--|
| 日 | 時 | 令和2年3月19日  |
| 場 | 所 | 田原福祉センター 会議室   |
| 議 | 題 | 委員長、副委員長の選任<br>法人後見受任に係る適否に関する審議（2件）<br>監査報告<br>平成30年度事業実績報告、令和元年度上期事業実績報告<br>法人後見受任事案等の報告<br>成年後見制度利用促進について |

### (2) 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

ア 田原市成年後見センター講演会は、『高齢者・障害者の権利侵害の現状』をテーマに令和2年3月2日の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむなく中止をいたしました。

### イ その他

#### (ア) 広報及び周知啓発活動

- ・ 田原市手をつなぐ育成会総会  
平成31年4月21日 田原福祉センター大会議室  
『成年後見制度・日常生活自立支援事業について』
- ・ 社会福祉協議会活動全国会議  
令和元年11月20日 全社協灘尾ホール  
『社協における総合的な権利擁護体制の構築』
- ・ みんなのカフェ(地域ケアカフェ)  
令和元年12月7日 神戸館  
『成年後見制度について』
- ・ 社協広報紙「社協だより」掲載  
第95号(7月15日発行)、第98号(1月15日発行)
- ・ 社協ホームページによるPR

(イ) 他機関との連携

- ・ 田原市障害者自立支援協議会  
運営会議(全11回/毎月第2火曜日)  
※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
権利擁護部会(全2回/8月6日、12月7日)  
※第3回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・ 東三河5市社協成年後見事業情報交換会(全1回/9月13日/田原)  
※第2回目(豊橋)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援(人)

	令和元年度	平成30年度
相談実人数	62	56
内成年後見申立支援	(2)	(5)

(4) 法人後見の受任(人)

	令和元年度	平成30年度
後見	10	10
保佐	4	4
補助	2	2
合計	16	16

9 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
727,603円	613,943円	113,660円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

判断能力の不十分な方(認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等)への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、貴重品の預かり等の支援を行いました。

- 福祉サービスの利用援助(相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理)
- 日常的な金銭管理サービス(利用料:1回 1,200円)
- 書類等の預かりサービス(利用料:年間 3,000円)

(1) 利用者内訳（人）

	令和元年度	平成30年度
昨年からの継続利用者数	13	9
新規契約件数	2	6
合 計	15	15
終了件数	3	2
年度末時点利用者数	12	13
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	0	0

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	4	3	5	12

1 0 資金貸付事業(県社協受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
350,000円	348,500円	1,500円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

(1) 生活福祉資金貸付事業

	令和元年度	平成30年度
相談件数	7	10
貸付件数	1	0

(2) くらし資金貸付事業

	令和元年度	平成30年度
相談件数	1	1
貸付件数	0	0

※相談件数に対して貸付件数が少ないのは、相談をした結果、他の方法で解決し、本申請に至らなかったためです。

## 1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
2,137,098円	1,989,370円	147,728円

### [目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごとの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

### [主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月 2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月 3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月 1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	奇数月 2回（原則第1・第3火曜日） 偶数月 1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

### (1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
相談件数	160	139	0	1	62	50	222	190

### (2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	0	年金	1	職業・雇用	4
借金	10	貸金	6	多重債務	2
消費者被害	3	財産	5	土地・建物	22
借地・借家	5	境界・登記	3	相続	51
成年後見	2	家族・家庭	17	離婚・養育費	45
損害賠償	12	事故	3	DV・虐待	4
人権法律	3	その他	24		
合計				222件	

## 1 2 障害児相談支援事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
124,741円	290,072円	△165,331円

### [目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行いました。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助
---

利用状況

	令和元年度	平成30年度
利用計画書作成件数	6	15

1.3 一般相談支援事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・地域移行支援（精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるような住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援） ・地域定着支援（病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援）
---

利用状況

	令和元年度	平成30年度
利用計画書作成件数	0	0

※他の事業所に専門の相談員（精神保健福祉士）の配置があるため作成依頼なし。

#### 1 4 特定相談支援事業（市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
18,085,675円	17,691,517円	394,158円

##### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行いました。

##### [主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じる他、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

○田原市社協相談支援事業所
営業日 月曜日から金曜日まで
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助
・モニタリングの実施
・社会資源を活用するための支援
・社会生活力を高めるための支援
・権利の擁護のために必要な援助
・専門機関の紹介
・就労に関する支援
・生活保護被保護者への就労支援
・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務
・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務
・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

##### (1) 相談実績

相談方法	※月別相談実人数累計（人）		相談延回数（回）	
	元年度	30年度	元年度	30年度
電話相談	75	87	624	936
来所相談	38	63	113	203
訪問・同行	58	73	160	244
その他（連絡調整等）	264	273	2,537	2,713
合計	435	496	3,434	4,096

## (2) 支援実績

支援内容	※月別支援実人数累計 (人)		支援延回数(回)	
	元年度	30年度	元年度	30年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	178	197	2,338	2,562
障害や症状の理解に関する支援	2	6	5	16
健康・医療に関する支援	3	12	3	24
不安の解消・情緒安定に関する支援	7	19	18	59
保育・教育に関する支援	1	2	1	3
家族関係・人間関係に関する支援	0	0	0	0
家計・経済に関する支援	3	2	30	3
生活技術に関する支援	0	1	0	8
就労に関する支援	73	67	982	1,401
社会参加・余暇活動に関する支援	1	2	1	3
権利擁護に関する支援	0	0	0	0
その他情報交換・生活状況確認等	16	11	56	17
合計	284	319	3,434	4,096

※(1)相談実績と(2)支援内容の月別支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。相談件数が減少しているのは、障害者総合相談センターの配置職員(他法人職員)が増員され、利用が分散したためです。

## (3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
162	169	525	558

## (4) 就労支援実績及び支援内容(相談件数は(1)(2)に含む)

## ア 支援対象者数(人)

## (ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
6	4	23	21	27	30	8	4	64	59

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

## (イ) 就労状況別

在職		求職		計	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
37	33	27	26	64	59

イ 就職等の状況（人）

就労支援		定着支援		※定着支援のうち			
				福祉的就労		定着支援事業利用者	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
24	26	37	29	4	3	7	5

1 5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
38,363,812円	35,907,413円	2,456,399円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

- 総合相談支援業務
  - ・総合的な相談支援
  - ・独居及び高齢者のみ世帯への訪問による生活状況の確認と課題の早期発見
- 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
  - ・地域の保健・福祉・医療サービス・ボランティア等の連携支援
- 権利擁護業務
  - ・高齢者虐待の防止、消費者被害の防止活動
  - ・成年後見制度、日常生活自立支援制度活用の促進
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - ・地域の介護支援専門員と関係機関の連携支援
  - ・困難事例の相談受付及び同行訪問等の支援
  - ・事例検討会・研修会の実施
- 介護予防に係るケアマネジメント業務
  - ・事業対象者、要支援認定者の自立した日常生活の支援
  - ・介護予防に取り組む必要がある高齢者の把握及び介護予防に関する教室への参加促進
- 認知症に関する取り組み
  - ・認知症に関する正しい知識の周知・啓発活動
  - ・認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制の構築
- 地域ケア会議の推進
  - ・多職種協働による個別ケースの検討及び問題解決
  - ・個別ケースの課題分析等を通じた地域課題の発見と地域づくり検討

決算額の比較増減については、職員の配置換え及び事務分担変更に伴う人件費の増額が主な理由です。

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 泉中学校区 伊良湖岬小学校 区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ブランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

主センター、サブセンターは携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行いました。

#### (1) 総合相談支援業務、多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

生活圏域の身近な相談窓口として、高齢者やその家族からの介護や生活等の相談、独居高齢者・高齢者世帯の訪問を行いました。初期相談は介護保険申請に関する内容が最も多くなっています。新規総合相談件数は、前年度に比べ増加しています。サブセンターは前年度並みでしたが、主センターは前年度比35%増となりました。

独居高齢者及び高齢者のみ世帯へ訪問しての実態把握業務は、前年度同様の約400人を訪問しましたが、新規訪問する家庭では聞き取り、面談の拒否が数件ありました。

ネットワーク構築活動は、地域の集いに出向き地域情報の収集と高齢者支援センターの機能紹介、出前講座を実施、介護保険関係事業者等連絡会の事務局として研修会等の開催・事業者ガイドブックの作成を実施、「地域の方々に健康づくり・介護予防の意識をもってもらいたくための働きかけを増やす」ことを目標にライフランド情報シートを生活支援コーディネーターとともに作成、地域住民に配布しました。

#### ア 主センター・サブセンター対応実績

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
野 田	82	61	18	22	256	285	356	368
赤 羽 根	212	116	113	79	532	450	857	645
泉	115	96	68	28	284	311	467	435
伊良湖岬	184	81	56	39	225	275	465	395
担当圏域外	15	14	30	42	10	34	55	90
合計	608	368	285	210	1,307	1,355	2,200	1,933

## イ ブランチ対応実績

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
野田	1	0	2	1	0	0	3	1
赤羽根	0	0	0	0	0	0	0	0
泉	0	0	1	0	0	0	1	0
伊良湖岬	0	0	2	1	0	0	2	1
福江	2	0	2	2	0	0	4	2
東部	2	2	2	6	0	1	4	9
田原(童浦小校区除く)	4	1	7	5	0	0	11	6
田原(童浦小校区)	1	1	1	0	0	0	2	1
市外・不明	3	1	4	3	0	0	7	4
合計	13	5	21	18	0	1	34	24

## ウ ネットワーク構築実績

圏域	元年度(件)	30年度(件)
野 田	59	58
赤 羽 根	20	36
泉	7	8
伊 良 湖 岬	99	59
市内全般	94	30
合計	279	191

### (2) 権利擁護業務

認知症、精神疾患による判断能力が不十分と思われる方に対しての日常生活自立支援事業、成年後見制度の利用提案を行いました。田原市成年後見センターに相談をし、助言をいただきながら対応しました。

虐待については、相談があった際には田原市高齢者虐待マニュアルに沿って市役所と共に対応を行いました。

援助項目	延件数(件)	
	元年度	30年度
成年後見制度等の利用	21(実人数5名)	5(実人数2名)
虐待への対応	23(実人数1名)	9(実人数4名)
消費者被害への対応	2(実人数1名)	0
困難事例への対応	31(実人数2名)	2(実人数1名)
合計	77(実人数9名)	16(実人数7名)

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

個別支援では地域との連携を意識して、地域ケア個別会議、担当者会議を行うようにしました。希薄になっていた親族、身近に居住していて心配して

いる近隣住民等との関係構築をして、対象者が安心して生活できるように相談対応を行いました。

本人の判断能力の低下、介護者の社会的生活力の低さ、主介護者の体調不良により介護ができない状況になるなど状況は様々ですが、金銭の管理、生活上の危険性の判断が難しくなってきた事例に対して介護支援専門員から一緒に考えてほしいと相談される事例が多くなっています。

#### 個別支援

	元年度	30年度
実人数	10	12
延べ支援数	75	88

#### (4) 介護予防ケアマネジメント業務

通所型介護予防事業(旧二次予防教室)は廃止されました。

介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援計画作成が必要な方には、自立支援を目標としたプラン作成を心がけました。また、シルバーサロンや教室、集いへの参加の声掛け、地域の社会資源の活用を提案を行いました。

計画作成件数は前年度に比べ若干増の状況ですが、新規利用者数は前年度比約70%増の状況でした。

##### ア 介護予防プラン作成業務 (要支援の方等)

	元年度	30年度
年度末登録者数(人)	158	139
予防プラン作成件数(件)	1,847(委託件数0件)	1,811(委託件数0件)

##### イ 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント相談内訳

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		連絡調整(件)		計(件)	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
野田	103	99	4	3	351	359	274	130	732	591
赤羽根	221	110	17	14	560	610	811	344	1,609	1,078
泉	160	129	4	3	383	451	308	233	855	816
伊良湖岬	208	137	24	13	700	733	289	265	1,221	1,148
その他	2	10	0	1	15	17	25	6	42	34
合計	694	485	49	34	2,009	2,170	1,707	978	4,459	3,667

#### (5) 認知症に関する取り組み

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの一環として認知症サポーター養成講座、認知症対応講座を実施しました。

認知症予防のための地域活動に参加するきっかけとなる地域の集いを紹介するチラシの作成や配布を、生活支援コーディネーターと実施しました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催数		参加人数	
元年度	30年度	元年度	30年度
4	3	109	80

田原市ボランティア連絡協議会会員、赤羽根・田原西部民生児童委員協議会、若戸小学校6年生児童、野田小学校6年生児童

イ 認知症対応講座

開催数		参加人数	
元年度	30年度	元年度	30年度
1	5	51	155

赤羽根中学校1年生生徒

(6) 地域ケア会議の推進

必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。

個別支援開催数		圏域課題支援	
元年度	30年度	元年度	30年度
6	5	2	3

1 6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
11,928,537円	9,821,840円	2,106,697円

[目的]

さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へ包括的な相談支援を行うことにより、生活保護へ至る前に自立を促します。

[主な事業内容・実績]

田原福祉センター、赤羽根福祉センター及びあつみライフランドに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析し、食料の支給や就労に関する支援、医療機関へのつなぎや他の福祉制度の紹介・利用、必要に応じてその課題を踏まえた個別の自立支援計画を作成しました。

○職員体制

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（田原福祉センター）
- (2) 相談支援員 2人  
（赤羽根福祉センター、あつみライフランドに各1人）

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方

決算額の比較増減については、相談支援の長期化等に対応するため、担当職員を増員したことに伴う人件費の増額が主な理由です。

相談実績（件）

	令和元年度	平成30年度
新規	27	39
計画作成	16	12
食品支援	39	31

1.7 生活困窮者就労準備支援事業（市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
3,537,983円	3,400,832円	137,151円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常生活や社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活や社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会参加・就労への第一歩を支援しました。

- |        |                      |    |            |
|--------|----------------------|----|------------|
| ○職員体制  | 就労準備支援員              | 1人 | （田原福祉センター） |
| ○利用対象者 | 就労にむけた準備が整っていない生活困窮者 |    |            |

相談実績（件）

	令和元年度	平成30年度
相談件数	13	14

1.8 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
11,290,260円	10,887,783円	402,477円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者(児)宅、知的障害者(児)宅又は精神障害者(児)宅に在宅生活を援助するため、ホームヘルパーを派遣しました。

- |                          |
|--------------------------|
| ○田原市社協ヘルパーステーション         |
| 営業日 年中無休（ただし、年末年始利用は要相談） |

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
28	28	2836	2,790	2,932	2,861

### 19 就労移行支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
18,564,115円	22,487,721円	△3,923,606円

#### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

#### [主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○多機能型事業所田原市社協・就労定着支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
・個別支援計画の作成
・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
・生産活動の機会の提供
・実習先企業等の紹介
・就労への移行に向けた求職等の支援
・就労後の職場定着のための支援

決算額の比較増減については、多機能型事業所として生活介護事業と一体運営を開始したことにより職員配置が変更となり、人件費が減額したことが主な理由です。なお、報酬単価の増額により、収支差額としては約300万円のプラスとなっています。

#### 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
13	17	2,074	2,275	4	4

利用者数については、年度末における数値

### 20 移動支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
7,045,960円	7,138,000円	△92,040円

[目的]

障害者総合支援法における田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする身体障害者（児）、知的障害者（児）、精神障害者（児）の社会参加などの際の外出支援を行いました。田原市在住の他市利用者も昨年に引き続き支援を行いました。また、グループ支援での提供も毎月行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション	
営業日	年中無休（ただし、年末年始利用は要相談）
場 所	赤羽根福祉センター内（赤羽根町赤土1番地）

事業実績

実利用者数（人）※月平均		延派遣時間数（時間）		延派遣回数（回）	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
23	30	3,228	3,339	744	866

2.1 生活介護事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
30,551,292円	26,705,794円	3,845,498円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適正なサービスを提供することを目的とします。

[主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切にし、創作的活動、畑の作業、外出等を行い、生きがいや居場所づくりを行います。

○田原市社協生活介護事業所なのはな	
営業日	月曜日から金曜日 (12月29日～翌年1月3日を除く)

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
30	30	2,749	2,476

決算額の比較増減については、1人当たりの利用回数が増加したことが主な理由です。

## 2 2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
3,811,302円	5,322,649円	△1,511,347円

### [目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

### [主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行います。

○田原市社協日中一時支援事業所 営業日 土曜日及び祝日 田原市立学校等管理規則に定められる休業日の期間中は月、火、木、金、土曜日 (12月29日～翌年1月3日を除く)
--

決算額の比較増減については、利用されている児童が成人になられたことに伴い（成人の方は土曜日のみの利用となるため）、利用実績が減少したことが主な理由です。

### 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
23	23	775	903

## ◎在宅福祉サービス

## 2 3 居宅介護支援事業(介護保険事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
71,131,717円	72,041,358円	△909,641円

### [目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

### [主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

○田原市社協あかばねケアプランセンター
○田原市社協あつみケアプランセンター
営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
・各種介護相談対応、申請援助
・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成
・施設入所等の相談対応
・入退院時の医療機関との連携
・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
赤羽根	200	178	1,950	1,950
あつみ	215	221	2,415	2,335
計	415	399	4,365	4,285

## 2.4 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
33,544,054円	41,471,562円	△7,927,508円

### [目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

### [主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

○田原市社協ヘルパーステーション
営業日 年中無休（ただし、年末年始利用は要相談）
場 所 赤羽根福祉センター内（赤羽根町赤土1番地）

決算額の比較増減については、派遣回数が減少したことに加え、職員の配置換えや再雇用職員等の退職により、人件費が減額となったことが主な理由です。

### (1) 訪問介護(要介護1～5)

新利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
21	24	2,280	2,552	2,829	3,169

派遣世帯数の減少に伴い、派遣回数及び派遣時間が減少しました。

(2) 介護予防訪問介護（要支援1～2）

利用者数(人) ※平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
17	21	1,252	1,581	1,276	1,621

派遣世帯数の減少に伴い、派遣回数及び派遣時間が減少しました。

(3) ひとり親家庭等日常生活支援事業(市受託事業)

社会的支援が必要なひとり親家庭に、生活援助のためにホームヘルパーを派遣しました。今年度は利用申請がないため、実績は0件となっています。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
0	1	0	11	0	11

(4) 障害児童・生徒学校介助員派遣事業(市受託事業)

身体・精神・知的障害のある児童に学校で介助を行うためホームヘルパーを派遣します。今年度は利用申請がないため、実績は0件となっています。

派遣世帯数(戸)		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
0	0	0	0	0	0

## 2.5 福祉車両運行サービス事業

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
2,224,720円	2,414,632円	△189,912円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

- |  |
|--|
| ○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）<br>午前8時30～午後5時15分 |
| ○利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる                       |
| ○発着のどちらかが、田原市内であることが条件                             |

## 利用実績

事業所	年間延利用件数（件）					
	高齢者		障害者		計	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
田原	650	937	301	265	951	1,202
赤羽根	0	0	0	0	0	0
渥美	279	245	49	91	328	336
合計	929	1,182	350	356	1,279	1,538

## 2.6 配食サービス事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
7,069,815円	8,163,540円	△1,093,725円

### [目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

### [主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）

※4月30日、5月1日、2日は祝日でしたが実施

○利用者本人の負担は食事代実費（500円～530円）

決算額の比較増減については、他事業所の参入に伴う利用実績減少が主な理由です。

## 利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
田原	35	40	4,912	5,466
赤羽根	7	6	658	722
渥美	31	37	3,010	3,846
合計	73	83	8,580	10,034

## 2.7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
2,370,092円	8,673,834円	△6,303,742円

### [目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施して、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

[主な事業内容・実績]

○閉じこもり予防教室 市民館等の12会場で毎月1回開催

決算額の比較増減については、受託内容の変更に伴い、3種類あった事業（教室）が1種類のみとなり、事業規模が縮小されたことが主な理由です。

閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	30年度
野田市民館	12	12	14	14	113	119
高松市民館	12	12	15	14	140	140
赤羽根市民館	12	12	8	9	72	87
赤西公民館	12	12	11	13	100	115
若戸市民館	12	12	13	15	112	116
池尻集会場	12	12	5	9	39	76
泉市民館	12	12	4	6	32	39
和地市民館	12	12	15	12	115	92
堀切市民館	12	12	11	12	108	113
福江市民館	12	12	20	22	201	204
あつみライフランド	12	12	7	6	60	58
清田市民館	12	12	6	7	57	64
合計	144	144	129	139	1,149	1,223

◎施設・指定管理

28 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	令和元年度支出決算額	30年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	42,773,315円	44,027,917円	△1,254,602円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	13,360,723円	14,269,347円	△908,624円

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。また、ふれあい・いきいきサロンの定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

田原福祉センター管理運営事業の決算額の比較増減については、空調設備の更新に伴う保守料等の減額が主な理由です。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

	田原福祉センター		赤羽根福祉センター	
	令和元年度	30年度	令和元年度	30年度
一般利用	36,502	47,671	-	-
会議室利用	34,215	36,336	2,741	2,863
健診等	3,492	5,538	0	0
その他※	11,251	12,822	3,525	3,379
合計	85,460	102,367	6,266	6,242

※ 各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

ア 田原福祉センター

「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」2,074人

「豊川保健所田原保健分室利用者数」3,909人

「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」5,268人

イ 赤羽根福祉センター

「生活介護事業利用者数」2,750人

「日中一時支援事業所利用者数」775人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とするなど市民活動の拠点としても親しまれています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5) 各種団体支援助成 参照 }

(イ) 田原市成年後見センター

- (ウ) ボランティアセンター
- (エ) ふれあい相談センター（結婚相談）
- (オ) 多機能型事業所田原市社協（就労移行）
- イ 豊川保健所田原保健分室
- ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター
- エ 田原市障害者総合相談センター
- オ こども発達相談室
- カ 母子寡婦福祉会（喫茶及び売店）
- キ 田原市地域職業相談室（ハローワーク）
- (3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介
  - ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会
    - (ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター
    - (イ) 田原市社協ヘルパーステーション
    - (ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター
    - (エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな
    - (オ) 田原市社協日中一時支援事業所
  - イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

## ◎事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。